

県立新任教務主任研修を実施しました。

令和2年6月10日(水)に「県立学校新任教務主任研修」を実施しました。



昨年度までは、小・中・高・特で同一日開催でしたが、今年度は小・中と県立学校を別日で実施することとなりました。新型コロナウイルス感染防止のため、午前中は受講者を2会場に分け、中継システムでつなぐ形での実施となりました。

午前中は総合教育センター研究部 北河洋一部長による「新任教務主任に期待すること」



の講義にはじまり、愛知県立岡崎東高等学校校長 三矢勝己先生から「学校組織マネジメ

ント概論」についてお話をいただきました。社会情勢にまで目を向けた教務主任として必要な視点、ミドルリーダーとしての役割等、多岐にわたる講義内容でした。



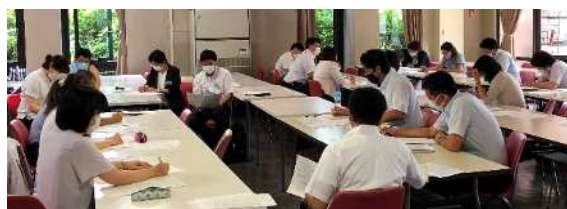
午後は、高等学校と特別支援学校に分かれ、研究協議を行いました。高等学校は「指導と評価の一体化に向けた本校の取組」について、特別支援学校は「教務主任の役割と当面する課題」「自ら学び自ら考える力を育成する学習指導と評価の工夫」について協議を行いました。今年度は新型コロナウイルス関連の悩みも多く、具体的な他校の取組を聞き、課題を共有できる充実した時間となりました。

【受講者の声】

- 現在の社会の様子を認識した上で、学校に求められている事柄や教務主任として身に付けなければならない能力について学ぶことができました。
- 自分の立場、役割をしっかりと意識して、ミドルリーダーとしてよりよい学校づくりに貢献したいと感じました。



- 教務主任としての具体的な体験談から、マネジメントに関する知見を得ることができて大変勉強になりました。
- 教務主任の年間を通した業務が一覧で示されており、これからの見通しをもつことができました。



- 他校のお話を聞くことで評価に関して本校の現状を客観的に確認することができ、とても参考になりました。
- コロナ関係で例年とは異なる対応を迫られている今、このタイミングで他校の工夫を共有することができたことはとてもよかった。
- あらかじめ提出した質問事項に対して、とても丁寧に回答していただいていたのでありがたかったです。